

音を聞いて（聞き分けて）みよう

■プログラムの概要

ねらい	自然界には様々な音があること、それらの音を私たちは耳で聞き分けられることを実感し、様々な音を意識して聞くことで音を通じて自然に興味を持たせる。		
キーワード	身近な自然		
対象	小学3年～小学6年		
時間	45分（90分）	実施場所	教室・校庭その他
使用するもの	ワークシート CDプレーヤー、PCなど音源データ 問題カード（ゲーム用） 犬笛など（無くても可）		
全体の流れ	<ol style="list-style-type: none">1. 導入2. 音の聞き分けゲーム3. さまざまな音 屋内でCDなどにより何種類かの音を聞かせ、〈何の音か〉、〈どんな感じがするか〉を書かせ、発表させる。4. 音探し 屋外(校庭など)で音を探す。グループでまわる。5. 音のまとめ		

■進め方

時間	学習内容	指導上の留意点
10分	<p><導入> 音について学習することを伝える</p> <p>「音はどこで聞くのか」を問う ↓ 「人間の声も音だが、同時に違う言葉を言っても聞き分けられるだろうか？」 ↓ 「聞き分けられる」としたら 「音は混じり合うだろうか？」 ↓ 「実験してみよう」</p> <p><音の聞き分けゲーム> ゲームの説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な言葉（3文字程度。児童が知っている単語）を書いた問題カードを用意する。 ・出題者の児童3人が、同時に異なる問題カードを読む。 ・他の児童は回答役で、聞き分けられた単語を挙手で答える。 ・問題ごとに正解のカードを見せて確認する。（3～5問程度繰り返す。時間があれば、問題役の人数を増やし、難易度を上げてよい。） <p>音は混じり合わないことを確認する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「問題カード」は10～15種類ほど用意するとよい ・最初に指導者2～3名でやってみせる ・同じ速さで読むように指導する
10分	<p><さまざまな音の話> 「私たちの周りには、人の話し声だけではなく、様々な音がある。自然の音、人工の音、低すぎたり高すぎたりして聞こえない音もある。同じ音でも大きい音・小さい音がある」</p> <p>「音によって感じ方には違いがあるだろうか？」 ↓ 「実際に聞いてみよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高すぎる音の例として「犬笛」などを聞かせてもよい ・聞くときは、目を閉じて静かに聞く。

時間	学習内容	指導上の留意点
	<p>さまざまな音を聞いてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> CD等で音源を聞き、 〈何の音か〉 〈どんな感じがするか〉 をワークシートに書く。 聞いた音について、挙手で発表する 〈何の音か〉の正解を明かす 〈どんな感じがするか〉については、特に正解は無く、一人ひとり違うことを話す。 上記を繰り返す。(3～5種類の音) 	<ul style="list-style-type: none"> 音源の例 <ul style="list-style-type: none"> ①鳥の声 ②流水の音 ③車の音 など 3～5つの音を一通り聞き終えてから、もう一度最初から音源を聞き、〈何の音か〉の正解を言うパターンも可。
15分	<p>〈音探し(屋外編)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 校庭等に集合する 「校庭ではどんな音がするか、搜してみよう」 ↓ 目を閉じて1～2分周りの音を聞く グループごとに分かれ、校庭を移動しながら音を探す。 音を聞くときは、目を閉じて 〈何の音か(どこから聞こえる音か)〉 〈どんな感じがするか〉 を記録する。(3～6種類くらい) 探す音は、自分たちが出す音ではなく、耳を澄まして、自然に聞こえる音を聞くように指導する。 多くの種類の音を探せない場合でも、10～15分程度で区切り、教室にもどる。 	<ul style="list-style-type: none"> あとでグループごとに発表できるように、ワークシートに記録するよう指導する。
10分	<p>〈まとめ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> グループごとに探した音について発表する。 音についてわかったこと、感想を書いて、2～3人に発表してもらおう。 	

■使用するもの

物 品 名	数 量	備 考
ワークシート	1人1枚	屋外で実施する場合は、簡単な地図でも可
画板	1人1枚	屋外の場合
音源CD・データ	数種類	自然音と人工音の両方があるとよい
パソコン	1台	またはCDプレーヤー
問題カード（ゲーム用）	10～15枚程度	単語の文字数は揃える（3文字程度）

■実施にあたって留意する点

- ・屋内で行う場合、周辺の教室に影響のないように配慮する（CDのボリューム等）
- ・音の感じ方には個人差があるので、指導者が「良い／悪い」を断定しないようにする。